

平成29(2017)年度社会福祉法人あかつき福社会
事業報告書

社会福祉法人あかつき福社会

2017 4月



所外活動 <あかつき園・ワークセンター>



幸せの黄色いレシートキャンペーン
贈呈式 <ささゆり園>

5月



バーベキュー大会 <ささゆり園>

6月



オープンワーク<あかつき園・ワークセンター>

7月



企業見学 <ささゆり園>



スイカ割り <ショートステイ室>

8月



納涼祭



プール活動<あかつき園・ワークセンター>



西南ジャンボリー<あかつき園・ワークセンター>

9月



親睦会 <ささゆり園>

10月



宿泊旅行 <ささゆり園>

11月



余暇活動 <グループホーム>

2018 1月



人権研修

2月



全体会 <グループホーム>

3月



就職フェア

1. 平成29(2017)年度全体概要報告

(1) 社会福祉法人制度改正への対応

【法人本部(総務課)】

新たな経営組織に移行して運営を開始するとともに、社会福祉法改正に合わせた各種規程の見直しなど法改正に合わせた整備・対応を、随時行った。

(2) あかつき園建替計画の協議・検討

【法人本部(総務課)】

箕面市が作成した「重度障害者のための生活介護事業所整備構想(たたき台)」〈平成29年6月〉を受けて、箕面市協議を行うとともに、主にハード面に関する整備についての提言を行った。

(3) 工賃拡大に向けた取り組み

【箕面市立あかつき園・ワークセンターささゆり】

例年参加している地域や企業のイベントに加え、新たに地域イベント1回、企業イベント1回に参加及び保護者会開催時に販売ブースを設ける等、さをり織り販売の強化に取り組んだ。

(4) 放課後教室(日中一時支援)事業の方向性を協議

【箕面市立障害者福祉センターささゆり園】

箕面市内及び近隣他市に新規事業所が設立されている現状をふまえ、箕面市と継続協議を行った結果、箕面市の独自事業として実施してきたささゆり園放課後教室は、平成29年度をもって事業を終了することとなった。

(5) 利用率向上に向けた取り組み

入居者の高齢化・重度化への対応

【地域生活総合支援センター】

第9つながりの家は平成29年4月より月1回の土日運営を導入し、第4つながりの家は平成30年3月より365日運営に移行した。また、365日運営以外の全てのグループホームにおいて、試行的に祝日の日中に余暇支援を行い、利用日を増やした。

(6) 計画相談支援体制の充実

【地域生活総合支援センター】

専従職員を1名増やして2名体制を採り、今年度下半期から「サービス等利用計画」新規利用者6名の受け入れを行った。

【平成29(2017)年度実施事業等】

1. 法人本部(総務課)

2. 箕面市立あかつき園・ワークセンターささゆり <指定管理>

【実施事業】①生活介護事業 定員70名

②就労継続支援B型事業 定員10名

3. わんすてっぷ

【実施事業】生活介護事業 定員15名

4. 箕面市立障害者福祉センターささゆり園 <指定管理(⑤を除く)>

【実施事業】①園管理運営事業

②生活介護事業 定員20名

③日中一時支援事業(放課後教室)

④施設入浴サービス事業

⑤社会福祉増進事業

5. 地域生活総合支援センター

【実施事業】①共同生活援助事業

(第2つながりの家)

②短期入所・日中一時支援事業

(箕面市障害者ショートステイ室)

③居宅介護・重度訪問介護・同行援護・移動支援事業

(ヘルパーステーション「ウイズ」)

④相談支援事業

(ウイズ)

2. 法人本部（総務課）

(1) 概要

- 社会福祉法改正に伴う新たな経営組織での運営を開始し、各種規程の見直しを行うなど、法改正に合わせた整備・対応を行った。
- 定期的な「自主監査」（大阪府社会福祉協議会実施事業）の受審も4年度目を迎え、監査で指摘を受けた事項について随時改善を行った。
- 「職員採用に関する今後の取り組み方針」に基づく職員採用の取り組みを進め、正規職員1名・支援職員4名・臨時職員6名を採用した。
- 人材育成プロジェクトチームも発足から4年度目を迎え、計9回の会議を開催して「組織風土改善・人材育成プラン」に基づく取り組みの進捗管理を行うとともに、各取り組みの改善を行った。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計画	実施結果
1	社会福祉法改正対応	○新たな経営組織に移行して運営を開始するとともに、社会福祉法改正に合わせた各種規程の見直しなど法改正に合わせた整備・対応を、随時行った。
2	会計事務チェック体制の継続	○平成26～28年度に引き続き、監査法人による「自主監査」（府社協実施事業）を受審した。 ○定期的に、税理士事務所による日常的な経理事務処理に関するチェックを受けた。
3	あかつき園建替計画の協議・対応	○箕面市が作成した「重度障害者のための生活介護事業所整備構想（たたき台）」〈平成29年6月〉を受けて、箕面市協議を行うとともに、主にハード面に関する整備についての提言を行った。
4	長期計画の実行	○各原課での進捗管理に留まり、長期計画プロジェクトチームによる全体的な進捗管理が不十分な状況であった。
5	職員確保	○職員採用の取り組み方針に基づき、府社協就職フェア2回、ハローワーク就職説明会1回の出展、マイナビ等のインターネット媒体を活用した採用の取り組みを行った。結果として、支援職員4名・臨時職員6名を採用した。 ○法人本部強化のため、平成30年1月より採用活動を行い、正規職員（補佐）1名を採用した。
6	組織風土改善、人材育成	○9回の人材育成プロジェクトチーム会議を実施して、「組織風土改善・人材育成プラン」に基づく取り組みの進捗管理、改善等を行った。
7	虐待防止・サービス向上	○虐待防止・サービス向上委員会を2回開催し、虐待防止、サービス向上に向けた検討を行った。 ○虐待防止チェックリストに基づくセルフチェックを2回実施し、日頃の支援の振り返りを行った。 ○児童虐待防止機構オレンジCAPOの理事長：島田妙子氏を招き、「児童虐待」をメインテーマとした研修（平成29年度人権研修）を実施した。

(3) 今後について

- 職員確保や人材育成等、継続する課題について、引き続き計画に基づく取り組みを進めていくとともに、計画を随時修正・改善しながら取り組んでいく。
- 「重度障害者のための生活介護事業所整備構想(たたき台)」に基づく進捗状況を確認しながら、あかつき園建て替えに関わる箕面市への提言・協議を行っていく。
- 平成30年度で指定期間が終了となる指定管理施設の継続運営に向けた対応を図っていく。

(4) 理事会・評議員会等開催状況

理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回 平成29年 5月26日 案件 = 平成28(2016)年度決算 など ・ 第2回 平成29年 6月20日 案件 = 理事長選任 など ・ 第3回 平成29年10月27日 案件 = 就業規則一部改正 など ・ 第4回 平成29年12月20日 案件 = 就業規則一部改正 など ・ 第5回 平成30年 2月 7日 案件 = 運営協議会委員解任 など ・ 第6回 平成30年 3月29日 案件 = 平成30(2018)年度事業計画及び予算 など
評議員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回 平成29年 6月20日 案件 = 平成28(2016)年度決算 など
運営協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回 平成29年 5月25日 案件 = 平成28(2016)年度決算など ・ 第2回 平成29年10月24日 案件 = 就業規則一部改正 など ・ 第3回 平成29年12月19日 案件 = 就業規則一部改正 など ・ 第4回 平成30年 3月27日 案件 = 平成30(2018)年度事業計画及び予算 など

3. 箕面市立あかつき園・ワークセンターささゆり <就労継続支援B型事業>

(1) 概要

- ごみ袋の製造及び配送作業について、箕面市内7事業所と連携して、引き続きシェアを実施した。
- 多様な働く機会を提供するため、箕面市障害者事業団の職場体験実習を実施し、花壇管理と植物リースに係る作業に3名(延べ23日間)、喫茶店の接客作業に2名(延べ18日間)が参加した。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	利用率向上・収入増に向けた取り組み	○欠席時には適時連絡・状況把握し、長期欠席に至らないよう対応した。 ○欠席時対応加算の算定を53回行った。
2	製袋作業シェアの円滑実施	○箕面市内他事業所と連携して、製造作業は6事業所と約450万枚、配送作業は1事業所と約4万枚をシェアした。
3	効率的な送迎サービスの検討	○利用者間の相性、利用者の特性、利用状況などを踏まえて安全かつ効率的な運行を行うため、平成30年度送迎サービス計画を策定した。
4	工賃拡大に向けた取り組み	○定期的な清掃作業を継続し、農園作業も取り入れたが、製袋作業において必要枚数製造することを優先したため、新たな作業種の開拓までには至らなかった。
5	虐待防止・再発防止の取り組み	○日々の支援の振り返りを行うため、虐待防止研修を1回実施、虐待防止チェックリストに基づくセルフチェックを2回実施した。
6	多様な働く機会や社会生活に必要な経験の提供	○箕面市障害者事業団の職場体験実習を実施し、花壇管理と植物リースに係る作業に3名(延べ23日間)、喫茶店の接客作業に2名(延べ18日間)が参加した。
7	指定管理者アンケート、府社協福祉サービス第三者評価、施設サポートサービス結果を踏まえた対応 (1)より多様な視点での意見の把握 (2)家族への情報提供機会の強化 (3)職員の資質・専門性の向上	○西南小学校等10団体延べ172名の見学を随時受け入れ、来所者アンケートを6回実施した。 ○チーム別懇談会を開催し、普段の支援の様子を家族に知っていただく機会を2回提供した。 ○障害特性に応じた支援を行うため、専門家の助言・指導(作業療法士2回/月、臨床発達心理士1回/月、嘱託医1回/月)を積極的に活用するとともに、法人内で研修会を7回実施して、職員の支援スキルの向上を図った。
8	職員育成	○利用者支援、チームマネジメント、業務管理、リスクマネジメントなどに関する外部研修7講座に延べ8名が参加した。 ○各職員に年1回以上の面談を行い、困りごとや躓いている点などをともに解決していくよう努めた。

(3) 今後について

- ごみ袋の製造及び配送作業のシェアについて、引き続き関係団体と調整しながら円滑に実施していく。
- 工賃拡大に向けて、引き続き新たな作業種の開拓等の検討をしていく。
- 「重度障害者のための生活介護事業所整備構想(たたき台)」に基づく進捗状況を確認しながら、あかつき園建て替えに関する箕面市への提言・協議を行っていく。
- 平成30年度で指定期間が終了となる指定管理施設の継続運営に向けた対応を図っていく。

(4) 主な活動内容

①生産活動

ア) 主な生産活動内容及び収入

	平成28年度	平成29年度
箕面市指定ごみ袋の生産	88,810,543円	90,426,326円
館内清掃	100,000円	100,000円
計	88,910,543円	90,526,326円

イ) 利用者1人あたりの月額平均工賃額 (特別工賃を含んで換算)

	平成28年度	平成29年度	前年度比
就労継続支援B型	10,042円	6,589円	65.6%

②施設外支援

実習先	参加人数(実数)	参加延べ日数	職種
箕面市障害者事業団	4名	41日	緑化部門(花壇管理等)/3名・23日 喫茶/2名・18日

③その他の活動

- 健康活動(ラジオ体操、ウォーキング、ダンス、栄養教室、体重測定等)
- 創作活動(ハンドベル、ペーパークラフト等)
- 社会活動(買い物、公共交通機関の利用、所外活動等)

(5) 在籍者状況 (平成30年3月31日現在)

	在籍者数	平均年齢	平均在籍年数	平均利用率	平均利用人数
平成29年度	9名	27.6才	9.7年	91.6%	9.1人
平成28年度	10名	26.4才	8.4年	91.8%	9.6人

平成29年度利用者 障害支援区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	不明
	0名	1名	5名	2名	0名	0名	1名

3. 箕面市立あかつき園・ワークセンターささゆり <生活介護事業>

(1) 概要

- 工賃拡大に向けて、例年参加している地域や企業のイベントに加え、新たに地域イベント1回、企業イベント1回に参加及び保護者会開催時に販売ブースを設ける等、さをり織り販売の強化を実施した。
- 第三者の目を採り入れるため、虐待防止サービス向上委員会の委員による視察を試行的に実施した。
- 新任職員であっても統一した支援を行えるように、利用者支援を行うにあたっての基本的事項をまとめた「利用者支援概要シート」を全利用者分作成し、職員間で情報共有した。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	利用率向上、収入増に向けた取り組み	○欠席時には適時連絡・状況把握し、長期欠席に至らないよう対応した。 ○欠席時対応加算の算定を191回行った。
2	効率的な送迎サービスの検討	○利用者間の相性、利用者の特性、利用状況などを踏まえて安全かつ効率的な運行を行うため、平成30年度送迎サービス計画を策定した。
3	工賃拡大に向けた取り組み	○例年参加している地域や企業のイベントに加え、新たに地域イベント1回、企業イベント1回に参加及び保護者会開催時に販売ブースを設ける等、さをり織り販売の強化を実施した。
4	虐待防止・再発防止の取り組み	○第三者の目を採り入れるため、虐待防止サービス向上委員会の委員による視察を試行的に実施した。 ○虐待防止研修を1回実施、虐待防止チェックリストに基づくセルフチェックを2回実施し、日々の支援の振り返りを行った。
5	指定管理者アンケート、府社協福祉サービス第三者評価、施設サポートサービス結果を踏まえた対応	○西南小学校等10団体延べ172名の見学を随時受け入れ、来所者アンケートを6回実施した。 ○チーム別懇談会を開催し、普段の支援の様子を利用者家族に知っていただく機会を、各チーム2回(計6回)提供した。 ○進路移行に係る実習など4団体延べ24名の実習生の受け入れを行った。 ○障害特性に応じた支援を行うため、専門家の助言・指導(作業療法士2回/月、臨床発達心理士1回/月、嘱託医1回/月)を積極的に活用するとともに、法人内で研修会を7回実施して、職員の支援スキルの向上を図った。
6	介護技術の標準化への対応	○新任職員であっても統一した支援を行えるように、利用者支援を行うにあたっての基本的事項をまとめた「利用者支援概要シート」を全利用者分作成し、職員間で情報共有した。

計 画		実施結果
7	職員確保・育成	<p>○利用者支援、チームマネジメント、業務管理、リスクマネジメントなどに関する外部研修38講座に延べ48名が参加した。</p> <p>○4半期に1回、職員への聞き取りを行い、困りごとや躓いている点などをともに解決していくよう努めた。</p>

(3) 今後について

- 発達障害等、特段の支援を要する利用者及び利用者の相互関係に配慮したチーム編成と支援体制を引き続き検討・検証していく。
- 「重度障害者のための生活介護事業所整備構想(たたき台)」に基づく進捗状況を確認しながら、あかつき園建て替えに関する箕面市への提言・協議を行っていく。
- 平成30年度で指定期間が終了となる指定管理施設の継続運営に向けた対応を図っていく。

(4) 主な活動内容

①生産活動

ア) 主な生産活動内容及び収入

	平成28年度	平成29年度
箕面市指定ごみ袋の生産	4,800,000円	3,900,000円
さをり製品等製造販売	204,497円	228,894円
ペットボトル、アルミ缶リサイクル等	144,508円	161,771円
農園芸	795,516円	553,503円
館内清掃	400,000円	400,000円
計	6,344,521円	5,244,168円

イ) 利用者1人あたりの月額平均工賃(特別工賃を含んで換算)

平成28年度	平成29年度	対前年度比
2,711円	1,642円	60.5%

②その他の活動

- 健康活動(機能維持訓練、ダンス、プール、ウォーキング等)
- 生産活動(館内・館外清掃等)
- 日常生活・社会適応訓練(図書館利用、買い物活動、調理実習、喫茶店、外食等)
- 創作活動(アルバム作り、書道、手芸、季節の壁面飾り等)
- 文化活動(音楽活動、音楽・DVD鑑賞、演劇等)
- 社会活動(地域清掃、古切手の切り取り等)

(5) 在籍者状況 (平成30年3月31日現在)

	在籍者数	平均年齢	平均在籍年数	平均利用率	平均利用人数	
平成29年度	67名	28.7歳	10.1年	92.6%	62.1名	
平成28年度	66名	28.1歳	9.3年	92.5%	63.4名	
平成29年度利用者 障害支援区分	区分6 36名	区分5 21名	区分4 9名	区分3 1名	区分2 0名	区分1 0名

4. わんすてっぷく生活介護事業

(1) 概要

- 利用者の障害程度が年々重度化しており、障害支援区分5・6の利用者が契約利用者数のうち約67%(延べ利用人数割合約71%)となった。
- 入院に伴う長期欠席等により、平均利用人数は前年度(14.9名/日)より減少し、12.4名/日であった。それに伴い、介護給付費収入は前年度比約460万円の減収となった。
- 健康診断(年1回)や体重測定(月1回)を実施し、日々の体調確認・利用者の健康状態の把握に努め、必要に応じて関係事業者等へ通院に向けた働きかけを行った。

(2) 重点項目・課題解決の状況

計 画		実施結果
1	法人独自事業としての安定経営	<ul style="list-style-type: none"> ○平均利用人数は前年度(14.9名/日)より減少し、12.4名/日であった。 (入院に伴う長期欠席者1名、疾病に伴う解約者1名、利用日の減少者2名) ○平均利用人数の減少に伴い、介護給付費収入は前年度比約460万円の減収となった。
2	利用者・家族の高齢化への対応	<ul style="list-style-type: none"> ○健康診断(年1回)や体重測定(月1回)を実施し、日々の体調確認・利用者の健康状態の把握に努め、必要に応じて関係事業者等へ通院に向けた働きかけを行った。 ○各利用者に適した運動の機会を毎日提供した。 ○適宜、利用者の個別的な状況(不安定な利用、家庭状況の変化、手術後の対応など)も含め、サービス等利用計画作成事業者と情報提供や意見交換を図った。
3	サービスの質的向上	<ul style="list-style-type: none"> ○困難事例に対して、職員2名体制での対応を継続した。また、困難時の対応方法について、グループ会議での周知や個別支援計画書への記載を行い明確にした。 ○イベント時は、利用者ごとに場所を分ける等、障害特性を踏まえた環境のもと実施した。
4	職員確保・育成	<ul style="list-style-type: none"> ○新規配属職員を含む、介護職経験の短い職員2名について、個別面談やOJTを通して育成に努めた。 ○生活支援員の欠員時には、必要に応じ他部署より応援職員を配置して対応した。

(3) 今後について

- 実態に合ったサービス提供内容への見直しを検討していく。
- 困難事例に対して、複数職員による対応の継続等の支援策を検討していく。
- 利用者の高齢化への対応として、介護保険サービス対象年齢者の介護保険サービス利用の検討を進めていく。
- 利用者ニーズに基づいた他事業者サービスとの併用など、柔軟なサービス利用を推進していく。
- 健康維持に向けたサービスの提供を進めていく。
- 新規異動配置の職員には、OJTによる指導等によって育成に努めていく。
- 現状の課題や対象利用者についての整理を行い、拡大移転等の整備策を検討・立案していく。

(4) 主な活動内容

- ①創作活動(手芸、裁縫、クロスステッチ、編み物、折り紙、塗り絵、絵画等)
- ②文化活動(買い物、音楽鑑賞、栄養学習、カラオケ、Wii、オセロゲーム等)
- ③健康活動(健康診断、体重測定、ストレッチ、ウォーキング、乗馬機器等)
- ④心身を整える活動(手浴・足浴、爪切り、リラックス等)
- ⑤専門職による指導(機能維持訓練、嘱託医による相談、ダンス指導等)
- ⑥所外活動(野外活動センター、万博記念公園、イオンモール、カラオケ等)
- ⑦イベント(流しそうめん、かき氷、演奏会、クリスマス、節分等)
- ⑧生産活動

ア) 主な生産活動内容及び収入

	平成28年度	平成29年度	対前年度比
さをり製品等の制作・販売	4,480円	480円	10.7%
チラシ配布委託業務	55,601円	57,568円	103.5%
計	60,081円	58,048円	96.6%

イ) 利用者1人あたりの年額平均工賃

平成28年度	平成29年度	対前年度比
3,671円	4,228円	115.2%

(5) 在籍者状況 (平成30年3月31日現在)

	在籍者数	平均年齢	平均在籍年数	平均利用率	平均利用人数
平成29年度	15名	52.5歳	13.7年	82.4%	12.4名
平成28年度	16名	50.4歳	12.0年	99.4%	14.9名

平成29年度利用者 障害支援区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1
	2名	8名	4名	1名	0名	0名

5. 箕面市立障害者福祉センターささゆり園<園管理運営事業>

(1) 概要

- 障害者等への理解を深める啓発事業として、3月6日、「自閉症・発達障害の人の居心地のよい暮らしのために～地域資源利用への手立て～」と題し、株式会社おめめどうの奥平綾子代表取締役を招いて、障害者問題市民講座を開催した。
- 箕面保育園の園児23名及び保育士3名の計26名を招き、生活介護事業の利用者とともにクリスマス会を開催した。利用者から園児らへのプレゼント配布や合唱、障害やバリアフリーについて考えてもらうため実施して前年度好評であったリフト車両の見学(一部試乗)会を引き続き実施した。
- 昨年度に引き続き、箕面市及び箕面市社会福祉協議会との共催事業として、要約筆記講習会を2コース延べ8回実施し、受講者7名が修了した。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	既存8事業見直し協議・対応	○身体障害者専用駐車場の設置に関して、箕面市から了承を得たが、場所等の決定には至らず、継続課題となった。
2	施設利用基準のあり方を検討・協議	○茶道・華道教室利用者の固定化傾向、営利活動団体の利用基準等について、具体的な解決までには至らなかった。
3	障害者等の理解促進に係る啓発事業の実施	○3月6日、平成29年度「地域で生きる」障害者問題市民講座を開催した。「自閉症・発達障害の人の居心地のよい暮らしのために～地域資源利用への手立て～」と題し、株式会社おめめどうの奥平綾子代表取締役を招き、自閉症・発達障害の方への理解しやすい情報提供・環境整備やそれらに基づいた自己選択・自己決定の重要性についての講演をいただいた。参加者数は約50名であった。 ○箕面保育園の園児23名及び保育士3名の計26名を招き、生活介護事業の利用者とともにクリスマス会を開催した。利用者から園児らへのプレゼント配布や合唱、障害やバリアフリーについて考えてもらうため実施して前年度好評であったリフト車両の見学(一部試乗)会を引き続き実施した。 ○昨年度に引き続き、箕面市及び箕面市社会福祉協議会との共催事業として、要約筆記講習会を2コース延べ8回実施し、受講者7名が修了した。

(3) 今後について

- 施設利用基準のあり方を検討し、箕面市と継続協議を行っていく。身体障害者専用駐車場の設置については早急に検討していく。
- 「地域で生きる」障害者問題市民講座は、広報・事前宣伝の充実、実施内容・開催時期等を検討し、より多くの市民に参加していただけるよう、次年度も継続実施していく。あわせて、地域の保育園や中学校等とのイベントを通じた交流も継続していく。
- 要約筆記講習会は、手話講習会と比較して市民への浸透度、認知度がまだ低いいため、事前の広報・啓発を充実させ、受講者拡大に取り組んでいく。

(4) ささゆり園利用状況

	平成28年度	平成29年度	対前年度比
開館日数	321日	321日	100.0%
利用件数	1,877件	1,771件	94.4%
利用件数/1日	5.8件	5.5件	94.8%
利用者数	26,816名	22,753名	84.8%
利用者数/1件	14.3名	12.8名	89.5%
利用者数/1日	83.5名	70.9名	84.9%

事業名	平成28年度		平成29年度		対前年度比 (人数比)
	件数	人数	件数	人数	
障害者社会参加促進事業	42	357	40	344	96.4%
[内訳]					
①茶道教室	20	195	20	213	109.2%
②華道教室	22	162	20	131	80.7%
ボランティア育成事業	56	760	54	661	87.0%
[内訳]					
①手話講習会「基礎課程」 <28年度：入門・基礎編>	35	498	35	403	80.9%
②初級音訳講習会<28年度：中級>	13	85	11	98	115.3%
③要約筆記講習会	8	177	8	160	90.4%
啓発事業（障害者問題市民講座）	1	55	1	52	94.5%
貸館事業	1,778	25,644	1,676	21,696	84.6%
[内訳]					
①障害者団体	729	12,567	737	11,584	92.2%
②ボランティアサークル	546	7,558	502	5,249	69.4%
③外郭・行政関係	212	3,453	176	3,226	93.4%
④その他	265	2,030	231	1,605	79.1%
⑤IT室	26	36	30	32	88.9%
合 計	1,877	26,816	1,771	22,753	84.8%

※会議室等使用団体数(平成30年3月31日現在)

- ・定期利用団体：36団体（対前年度比2減）
- ・随時利用団体：34団体（対前年度比4増）
- 【合計】70団体(対前年度比2増)

5. 箕面市立障害者福祉センターささゆり園<生活介護事業>

(1) 概要

- 平成29年度利用契約者数21名のうち、利用者1名が平成29年9月に急逝されたため、最終的な契約者数は前年度比1名減の20名となった。また、入院加療の利用者が続く状況(胃ろう増設、肺炎、腎機能低下等)もあり、平均利用人数は15.3名/日で前年度16.1名/日より減少した。
- 特に、支援区分6の利用者(16名)の平均利用率が約80%と低い状況になっており、介護給付費収入は前年度比約400万円の減収となり、経営的に厳しい状況が続いている。
- 利用者・家族の要望から継続実施している宿泊旅行について、平成29年度は「夜のイベント：イルミネーション」をメインテーマに神戸ホテルフルーツ・フラワーに宿泊した。また、宿泊旅行以外のグループには、土曜日に日帰り旅行(ヤクルト兵庫三木工場、神戸どうぶつ王国)を実施した。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	介護給付費収入の安定的確保	○平成29年度利用契約者数21名のうち、利用者1名が平成29年9月に急逝され、最終的には前年度比1名減の20名となった。 ○入院加療の利用者が続く状況(胃ろう増設、誤嚥性肺炎、腎機能低下等)となり、平均利用人数は15.3名/日(前年度16.1名/日)であった。また、支援区分5(4名)の利用者の平均利用率は約94%であったのに対し、支援区分6(16名)は約80%と低い状況になっているため、介護給付費収入は前年度比約400万円の減収となった。
2	多様な活動支援の検討・実施	○利用者・家族の要望から継続実施している宿泊旅行について、平成29年度は「夜のイベント：イルミネーション」をメインテーマに神戸ホテルフルーツ・フラワーに宿泊した。 ○宿泊旅行以外のグループには、土曜日に日帰り旅行(ヤクルト兵庫三木工場、神戸どうぶつ王国)を実施した。 ○利用日外で旅行を実施したことにより収支は約24,000円の黒字であった。
3	入浴支援体制の見直し	○入浴専門の短時間臨時職員1名(女性)を採用できたことで、他職員の負担が軽減され、日中活動の幅が広がった。
4	介護職による喀痰吸引等の実施	○延べ8名の介護職員に対して実地研修を実施し、喀痰吸引等の特定行為が新たに実施可能となった。
5	重度重複障害者の地域生活に係る調査研究	○北摂重症児者の拠点作りの会に参加するなど、情報交換・交流を行った。
6	医療的ケアの必要な利用者の地域生活支援検討	○対象利用者が体調不良や入院中であったため、試行的ショートステイ利用は未実施であった。
7	指定管理アンケート結果を踏まえた対応	○利用者家族イベントを2回(バーベキュー大会、年度末イベント)開催し、家族(23名)への情報提供・交換の機会とした。 ○年度末の給食試食会を兼ねた家族懇談会では、給食委託業者テストィパルの栄養士・調理員と利用者家族が直接話をする場を設けた。 ○福祉機器やとろみ剤などに関する情報提供は、必要に応じ随時行った。 ○職員の資質・専門性向上のため、毎月作業療法士2名への相談を実施し、外部研修会にも延べ28名が参加した。
8	感染症対策	○感染症防止に係る施設設備の点検・整備と職員の知識向上を図るため、5月と11月の2回、感染制御ラウンド(実地指導)及び感染症防止研修会を開催した。

計 画		実施結果
9	職員確保	○常勤の看護職員1名を確保し、医療的な支援体制の充実を行った。 ○介護職員については、臨時職員1名・支援職員1名の退職があったが、早期に補充を行うことができた。
10	介護技術の標準化への対応	○個別の医療的ケアマニュアルや処置マニュアルについて、利用者の状況に応じた修正を行った。
11	腰痛予防対策	○職場定着支援助成金(介護福祉機器助成コース)を活用して移動式介護用リフトを導入し、介護職の身体的負担の軽減を図った。
12	地域への情報発信、交流	○ブログの更新(計20回)や機関紙「ささゆり園だより」の作成・配布(1回)を行った。

(3) 今後について

- 定員(20名)以上の利用契約者を確保するとともに、利用者家族の介護力維持へのフォローを行うなどして、介護給付費の安定的な確保を図っていく。
- 引き続き、医療的ケアを必要とする利用者へ安定的なサービスの提供を行っていく(介護職の喀痰吸引等実地研修を実施し対応可能な介護職員の増を図る、医療的ケアマニュアル作成の実施等)。
- 平成30年度より実施する生活介護(延長支援)の円滑実施に向けて、実施体制の整備・調整を行っていく。
- 引き続き、専門家による感染制御ラウンド(実地指導)及び感染症防止研修会等の実施等により、感染症防止対策を充実させていく。
- 地域の保育園や中学校等との交流を継続実施していく。
- 毎日の腰痛体操、作業療法士による腰痛予防研修の実施等、腰痛予防対策を充実させていく。

(4) 主な活動内容

- ①健康活動(バイタルチェック、ストレッチ、手浴・足浴等)
- ②機能訓練(作業療法士による訓練指導、エクササイズ等)
- ③創作活動(さをり織り、組紐、七夕創作、クリスマス創作等)
- ④園外活動(買い物、企業訪問、図書館、ドライブ、大学学園祭等)
- ⑤音楽活動(音楽鑑賞、カラオケ、ウクレレ演奏、中学校吹奏楽部演奏会等)
- ⑥ゲーム活動(ポッチャ、陣取りゲーム、みのお双六、ドキドキゲーム等)
- ⑦イベント(宿泊旅行、日帰り旅行、バーベキュー大会、年度末イベント等)

(5) 医療的ケア実施状況

内 容		人数
たんの吸引	口腔内	8名
	鼻腔内	3名
	気管カニューレ内部	5名
経管栄養	胃ろう	4名
	腸ろう	1名
	経鼻胃管	1名
経管による与薬	胃ろう	2名
	腸ろう	1名
	経鼻胃管	1名
ブジー		1名
酸素投与(緊急時含む)		3名
合 計 (延べ人数)		30名

(6) 在籍者状況 (平成30年3月31日現在)

	在籍者数	平均年齢	平均在籍年数	平均利用率	平均利用人数	
平成29年度	20名	42.8歳	10.7年	83.1%	15.3名	
平成28年度	21名	42.2歳	9.4年	85.1%	16.1名	
平成29年度利用者 障害支援区分	区分6 16名	区分5 4名	区分4 0名	区分3 0名	区分2 0名	区分1 0名

5. 箕面市立障害者福祉センターささゆり園<日中一時支援事業>

(1) 概要

- 平成29年度当初の利用契約者数は5名であったが、9月より1名増え、最終的な利用契約者数は6名となった。
- 自閉症支援セミナーへの参加や、自閉症支援アドバイザーの助言等に基づいた支援を実施した。
- 放課後教室(日中一時支援)事業については、箕面市内及び近隣他市に新規事業所が設立されている現状を踏まえ、箕面市と継続協議を行った結果、箕面市の独自事業として実施してきたささゆり園放課後デイサービス事業は、平成29年度をもって事業を終了することとなった。

(2) 重点項目・課題解決の状況

計 画		実施結果
1	事業の方向性を協議	○箕面市と継続協議を行った結果、平成29年度をもって事業を終了することとなった。 (平成30年3月で4名(高等部3年生)が支援学校を卒業し、残り2名(中等部3年生、高等部2年生)は他事業所の放課後デイサービスの事業の利用日数を増やす等の対応が可能であるため、放課後教室の終了による支障はない)
2	社会適応訓練の実施	○今年度は希望者がなく、未実施であった。
3	専門職との連携	○2回の自閉症支援セミナーに、介護職員延べ4名が参加した。 ○自閉症等の障害特性について、支援アドバイザーに助言をもらい、助言に基づく支援を行った。

(3) 今後について

※平成29年度をもって事業終了

(4) 主な活動内容

- ①健康活動(散歩、プール、エアマット、バドミントン等)
- ②調理実習(お好み焼き、ホットケーキ、焼き芋等)
- ③創作活動(市民展作品作成、紙コップ雛人形、描画等)
- ④農園活動(野菜栽培、草花栽培、サツマイモの収穫等)
- ⑤園外活動(箕面観光ホテル(プール)、ボウリング、図書館等)

(5) 在籍者状況 (平成30年3月31日現在)

	在籍者数	平均年齢	平均在籍年数	平均利用率	平均利用人数
平成29年度	6名	17.9歳	4.6年	84.3%	2.9名
平成28年度	7名	16.5歳	3.8年	59.9%	3.8名

平成29年度利用者障害支援区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	不明
	0名	0名	0名	3名	2名	0名	1名

5. 箕面市立障害者福祉センターささゆり園〈施設入浴サービス事業〉

(1) 概要

- 平成29年度当初の利用契約者数は12名であったが、5月より1名、平成30年1月から3月までの間限定的に利用される方も1名増え、合計14名であった。
- 登録ヘルパーの安定的な確保には至らず、生活介護スタッフが対応する状況が継続した。

(2) 重点項目・課題解決の状況

計 画		実施結果
1	事業の方向性を協議	○在宅入浴支援の充実等について箕面市と協議を行った。 ○導入後10年以上が経過し老朽化した機械浴槽2台のうち1台を新しい浴槽に交換した。
2	新規利用者の募集、確保	○平成29年度当初の利用契約者数は12名であったが、5月より骨折しやすい障害特性から自宅入浴のためのヘルパー確保が困難な利用者1名、自宅入浴を前提に平成30年1月から3月までの期間限定での利用者1名が増え、合計14名であった。 ○原則、在宅での入浴支援を勧めた。
3	サービスの質的向上	○入浴専門の短時間臨時職員(女性)1名を採用することができたが、残りの女性利用者枠は生活介護の職員と登録ヘルパーで対応した。 ○男性登録ヘルパーの確保ができず、男性利用者枠は生活介護の職員で対応した。
4	職員確保と支援サービスの質的向上	

(3) 今後について

- 老朽化した入浴設備の更新について、箕面市と継続協議していく。
- 機関誌・チラシ・ブログ等を活用しながら、引き続き男性・登録ヘルパーの確保に取り組んでいく。あわせて登録ヘルパーに依存しない従事体制についても検討を行っていく。

(4) 施設入浴サービス利用状況

	平成28年度	平成29年度	対前年度比
実施日数	243日	244日	100.4%
利用者数	627名	653名	104.1%
利用者数/1日	2.6名	2.7名	103.8%

※箕面市立障害者福祉センターささゆり園

〈その他(社会福祉増進事業)〉

- 大阪府登録喀痰吸引等研修機関として、実地研修及び修了申請事務を実施した。
- 平成29年度の修了者数は、延べ17名(全てあかつき福祉会職員)であった。

6. 地域生活総合支援センター〈共同生活援助事業〉

(1) 概要

- 365日運営に向けて、第9つながりの家は、月1回ではあるが平成29年4月より土日運営を導入した。また、第4つながりの家は、平成30年3月より365日運営に移行した。
- 家族の高齢化に伴い、これまで家族が担っていた通院を順次通院等介助に切り替えた。
- 消防法の規定に基づき、全てのグループホームに自動火災報知設備や火災通報装置の設置を完了した。
- グループホーム用住宅として課題を抱えている第5・6つながりの家について、転居計画を策定し物件確保に努めた。
- 個別支援計画書については前年度の事案を踏まえ、今年度は適正に作成するとともに、再発防止・信頼回復に努めた。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	利用率向上に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○利用率の低い(利用率70%未満)利用者3名に向けて、余暇支援もあわせた個別の利用促進の提案を行った。 ○第9つながりの家は平成29年4月より月1回の土日運営を導入し、第4つながりの家は平成30年3月より365日運営に移行した。 ○利用日を増やすため、365日運営以外の全てのグループホームにおいて、試行的に祝日の日中に余暇支援を行った。
2	GH将来構想の検討	<ul style="list-style-type: none"> ○グループホーム用住宅としての課題(狭隘さ、使い勝手の悪さ、老朽化等)を抱えている第5・6つながりの家について、転居計画を策定し物件確保に努めた。
3	入居者の高齢化・重度化への対応	<ul style="list-style-type: none"> ○これまで家族が担っていた通院を通院等介助に移行し、ヘルパー対応にシフトした。 (平成28年度8名→平成29年度17名) ○4名の入居者へ個別に成年後見制度の利用を勧めたが、利用までには至らなかった。
4	消防法への対応	<ul style="list-style-type: none"> ○消防法の規定に基づき、全てのグループホームに自動火災報知設備や火災通報装置の設置を完了した。 ○第7・9・10つながりの家について、次年度のスプリンクラー設置に向けて施設整備費国庫補助金の申請を行った。
5	余暇支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○余暇活動計画や個別支援計画に基づき、移動支援を活用した(移動支援ヘルパー派遣要請167回中、165回派遣)。 ○全体の懇親会を1回、グループホーム毎の余暇支援を1回以上(宝塚歌劇の観劇、動物園、カラオケ、ボウリング、夏祭り参加、クリスマス会開催等)、また個別の余暇支援を個別支援計画に基づき適宜実施した。

計 画		実施結果
6	職員確保・育成	○職員の欠員2名の補充に留まり、365日運営を進めていくための計画的な人員確保までには至らなかった。
7	サビ管と世話人との連携強化	○サービス管理責任者の月1回以上のグループホーム訪問や、電話又はメールでの面談を適時行った。

(3) 今後について

- 家族の高齢化に伴う対応として、365日運営に向けた支援体制等の整備を行っていくとともに、グループホームの将来構想を検討していく。
- 第5・6つながりの家の転居については、継続して建て貸し方式の候補地や賃貸物件を探していく。
- 消防法の規定に基づき、平成30年度中にスプリンクラーの設置を行っていく(第5・6・7・9・10つながりの家)。

(4) 在籍者状況 (平成30年3月31日現在)

	在籍者数	平均年齢	平均利用率	平均利用人数
平成29年度	35名	46.1才	80.8%	28.4人
平成28年度	36名	45.1才	79.1%	28.5人

平成29年度利用者 障害支援区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1
	4名	13名	9名	6名	3名	0名

6. 地域生活総合支援センター〈短期入所・日中一時支援事業〉

(1) 概要

- 体験利用の斡旋調整(255回)を行った結果、1日あたりの宿泊者数(5,22名)及び延べ利用者数(3,264名)となり、前年度比微増であった。
- 日中一時支援事業については、通所サービス利用後から家族が帰宅するまでの間の利用者が前年度に引き続いて増加し、延べ利用者(235名)で前年度比約1.2倍の利用者数となった。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	利用者支援体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○登録ヘルパー1名を新たに確保した。 ○箕面市との収支差補助額根拠の整理までには至らなかった。
2	利用者増に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○遅出・早出勤務を取り入れることにより、支援度の高い時間帯に対応できる体制を整えた。 ○体験利用の斡旋調整(255回)を行った結果、1日あたりの宿泊者数(5,22名)及び延べ利用者数(3,264名)となり、前年度比微増であった。
3	活動内容の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○土曜日及び日曜日の活動として、季節に応じた創作・余暇活動(スイカ割り、ハロウィンパーティー、クリスマス飾りつけ等)を月1回提供した。 ○タブレットの活用及びインターネット環境の整備については、利用者アンケート等を踏まえて現状のニーズを再検討した結果、余暇活動メニューの豊富化を優先することとしたため、導入を見送った。
4	医療的ケアの必要な方の試行的受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> ○ささゆり園の対象利用者が体調不良や入院中であったため、試行的受け入れは未実施であった。 ○職員1名が喀痰吸引等研修を受講した。 ○医療的ケアを要する利用者の服薬は医療職による投与が必要となるため、「支援センターい〜な・ゲートン」を2回訪問し、医療機関等との連携による受け入れ体制についての調査を行った。
5	職員確保・育成	<ul style="list-style-type: none"> ○男性職員1名の確保には至ったものの、欠員状態は継続し、他部門職員の応援勤務等で一部対応した。 ○虐待防止研修(事例検討・グループワーク)を3回実施するとともに、職員のスキル・経験年数等を踏まえて虐待防止や支援スキルに関する外部研修会に延べ3名が参加した。

(3) 今後について

- 利用状況に応じた支援体制及び申し込み状況に応じた体験利用の斡旋調整を継続して行うことにより、利用率の維持・向上に努めていく。
- 職員の人権意識及び支援スキルの向上に向けて、年間研修計画に基づき計画的に部門内研修を実施するとともに、外部研修への参加を推進していく。
- 「喀痰吸引等事業所登録」の申請手続を完了するとともに、連携医療機関の確保を含め、体制整備を検討していく。また、ささゆり園、あかつき園・ワークセンターささゆりとの連携のもと、対象利用者の受け入れを推進し、実施後の評価・検証を行っていく。

(4) ショートステイ室利用状況

	平成28年度	平成29年度	対前年度比
1日あたり宿泊者数	5.05名	5.22名	103.3%
延べ利用者数 (1日平均)	3,225名 (8.8名)	3,264名 (8.9名)	101.1%
短期入所 延べ利用者数 (1日平均)	3,029名 (8.3名)	3,029名 (8.3名)	100.0%
日中一時 延べ利用者数 (1日平均)	196名 (0.5名)	235名 (0.6名)	120.0%

6. 地域生活総合支援センター

＜居宅介護・重度訪問介護・同行援護・移動支援事業＞

(1) 概要

- 居宅介護については、グループホーム入居者の通院支援に係るニーズの増加に伴って、平成29年度は新たに8名へ通院等介助を開始したが、総派遣時間については、利用者の長期入院等により、前年度より減少した。
- 移動支援については、依頼に対するヘルパー派遣は概ね実施できたが、天候や利用者の体調不良(長期入院を含む)によるキャンセル等の理由から、総派遣時間は前年度より減少した。
- 新たに5名の登録ヘルパーを確保したが、グループホーム入居者以外の利用者へ定期的な派遣を行うための十分な確保には至らなかった。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	GHにおける余暇支援の充実 (移動支援の拡大)	○グループホームの余暇活動計画や個別支援計画に基づき、概ねヘルパーを派遣することができた(利用者のヘルパー派遣要請167回中、165回派遣)。 ○天候や利用者の体調不良(長期入院を含む)によるキャンセル等の理由から、総派遣時間は前年度より減少した。
2	GHにおける居宅介護・通院等介助の充実	○家族やグループホーム担当者、計画相談担当者との連携を図りながらニーズの把握に努め、居宅介護(6名)、通院等介助(13名)等のサービス提供を行った。
3	GHにおける居宅介護サービス派遣に関する法改正対応	○今年度については法改正がなかった。
4	通院等介助対応の見直し	○支援センターの職員が対応してきた通院等介助について、登録ヘルパーが対応できるよう移行を進め、利用者2名のうち1名の対応者を登録ヘルパーに移行した。 ○利用者へ同性ヘルパーを安定的に派遣できるよう、登録ヘルパーの次月の予定を電話、メール等であらかじめ確認し調整を行った。
5	有資格従事者の確保・育成	○新たに5名の登録ヘルパーを確保した。 ○募集チラシを作成し、桜、牧落周辺で計500枚を配布したが、チラシの成果は見られなかった。 ○サービス提供責任者を含む2名が同行援護従事者研修を修了した。 ○登録ヘルパーを対象に2回の研修(感染症予防研修、虐待防止研修)を実施した。

(3) 今後について

- グループホームの運営日を増やしていくにあたり、入居者の週末余暇支援の充実を引き続き検討していく。
- 居宅介護、移動支援におけるニーズへ対応していくため、登録ヘルパーの確保に向けて、募集方法の検討・見直しを行いながら、引き続き取り組んでいく。

(4) ヘルパー派遣状況（平成30年3月31日現在）

単位：時間

	居宅介護					移動支援	
	通院等介助		同行援護	身体介護	家事援助	I類	II類
	(身体介護あり)	(身体介護なし)				(身体介護あり)	(身体介護なし)
平成29年度	258.5	39.5	244.5	1,339.0	2.5	1,301.5	1,259.0
平成28年度	225.5	52.0	372.5	1,769.5	0.0	1,451.5	1,389.5

6. 地域生活総合支援センター〈相談支援事業〉

(1) 概要

- 福祉サービス利用に係る相談を中心に、972件の相談に対応した(前年度比153%)。
- 専従職員を1名増やして2名体制を採り、今年度下半期から「サービス等利用計画」新規利用者6名の受け入れを行った。
- 家族の高齢化や複雑な家族関係等により、家族に代わって様々なサービスの利用調整や家族間の関係調整が必要なケースについては、各関係機関と連携を図り対応を行った。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	計画相談支援体制の充実	○専従職員を1名増やして2名体制を採り、今年度下半期から「サービス等利用計画」新規利用者6名の受け入れを行った。 ○ミス防止のために導入を検討してきた計画相談作成システムについては、専従職員2名体制となったことにより、相互に計画を確認してミスの予防が可能となったため、導入を見送った。
2	相談支援の質的向上	○箕面市障害者自立支援協議会(相談支援部会)で開催されたケース検討会に参加した。 ○各ケースの担当者会議、他相談支援事業所との電話等での情報共有を図り、連携に取り組んだ。
3	困難事例への対応	○家族間の調整を要する事案について、各関係機関とも連携を図り継続的に対応を行った。 ○家族の高齢化に伴い、家族に代わって関係機関との諸手続等を調整するケースが増加しているため、必要に応じて調整・対応を行った。
4	相談支援専門員の確保・育成	○専従の相談支援専門員を1名増やして、2名体制とした。 ○職員のスキルアップを図るため、発達障害、成年後見人制度に関する外部研修会に延べ2名が参加した。

(3) 今後について

- 市内相談支援事業所の状況及び児童に係る相談ニーズの増加状況を踏まえ、「指定障害児相談支援事業者」の指定申請を行い、担い手の一事業所となっていけるよう取り組んでいく。
- 平成30年度の法改正に伴い、「相談支援従事者研修」の内容及び受講要件等が改正されるため、継続的に情報収集を行っていくとともに、今後の相談支援体制についても検討を進めていく。

(4) 相談状況 (平成30年3月31日現在)

①経路別

単位：件

	身体障害	重症心身	知的障害	精神障害	合計
訪問	7 (0)	87 (0)	280 (0)	4 (0)	378 (0)
来所	3 (0)	43 (0)	119 (1)	1 (0)	166 (1)
同行	0 (0)	2 (0)	17 (0)	0 (0)	19 (0)
電話	9 (0)	97 (0)	268 (1)	3 (0)	377 (1)
電子メール	0 (0)	1 (0)	13 (0)	0 (0)	14 (0)
個別支援会議	0 (0)	1 (0)	8 (0)	0 (0)	9 (0)
関係機関	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)
その他	0 (0)	4 (0)	4 (0)	0 (0)	8 (0)
合計	19 (0)	235 (0)	710 (2)	8 (0)	972 (2)

※括弧内は児童の相談件数

②内容別

単位：件

	身体障害	重症心身	知的障害	精神障害	合計
福祉サービスの利用	14 (0)	206 (0)	564 (2)	3 (0)	787 (2)
健康・医療	2 (0)	14 (0)	54 (0)	4 (0)	74 (0)
不安解消・情緒安定	0 (0)	1 (0)	15 (0)	0 (0)	16 (0)
家族関係・人間関係	0 (0)	5 (0)	15 (0)	0 (0)	20 (0)
家計・経済	3 (0)	0 (0)	11 (0)	1 (0)	15 (0)
生活技術	0 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	2 (0)
就労	0 (0)	0 (0)	29 (0)	0 (0)	29 (0)
社会参加・余暇活動	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
権利擁護	0 (0)	0 (0)	4 (0)	0 (0)	4 (0)
障害や病状の理解に関する支援	0 (0)	5 (0)	15 (0)	0 (0)	20 (0)
その他	0 (0)	4 (0)	1 (0)	0 (0)	5 (0)
合計	19 (0)	235 (0)	710 (2)	8 (0)	972 (2)

※括弧内は児童の相談件数

7. 事故・苦情・ヒヤリハット等の状況

(1) 苦情解決システムに基づく対応

平成29年度、苦情解決システムに基づき対応した事案はなかった。

(2) 事故・苦情・ヒヤリハットの取りまとめ状況

①事故

内容	部署	件数	主な内容・原因	対応策
誤薬・誤飲	あかつき園・ワークセンター ささゆり	1件	内容 与薬忘れ 原因 確認不足	与薬確認の徹底
	わんすてっぷ	0件		
	ささゆり園	1件	内容 与薬忘れ 原因 確認不足	与薬確認の徹底
	地域生活総合支援センター	12件	内容 与薬忘れ、誤薬 原因 確認不足	与薬確認の徹底
合計件数		14件		

怪我	あかつき園・ワークセンター ささゆり	7件	内容 打撲、骨折 原因 職員の不注意 利用者の状態把握不足 環境不備	安全配慮の徹底 環境整備
	わんすてっぷ	4件	内容 打撲、創傷、擦過傷 原因 安全配慮不足 利用者の機能低下	安全配慮の徹底 環境整備
	ささゆり園	1件	内容 内出血 原因 * 不明	安全配慮の徹底
	地域生活総合支援センター	5件	内容 打撲、指を挟む、圧迫、転倒 原因 職員の不注意 利用者の状態把握不足	安全配慮の徹底 環境整備
合計件数		17件		

内容	部署	件数	主な内容・原因	対応策
他傷行為による怪我	あかつき園・ワークセンターささゆり	16件 (うち、職員に対するもの7件)	内容 噛みつき・殴打・引っ掻き等 原因 安全配慮不足 利用者の状態把握不足 障害特性	利用者の心的状態を適切に把握 安全配慮の徹底 環境整備 行動障害に関する支援スキルの向上
	わんすてっぷ	2件 (うち、職員に対するもの2件)	内容 殴打 原因 利用者の状態把握不足 障害特性	利用者の心的状態を適切に把握 安全配慮の徹底 環境整備
	ささゆり園	1件 (うち、職員に対するもの1件)	内容 殴打 原因 利用者の状態把握不足 障害特性	利用者の心的状態を適切に把握 環境整備 行動障害に関する支援スキルの向上
	地域生活総合支援センター	2件	内容 引っ掻き、引っ張り 原因 利用者の状態把握不足 障害特性	利用者の心的状態を適切に把握 安全配慮の徹底
合計件数		21件		

自傷行為による怪我	あかつき園・ワークセンターささゆり	1件	内容 殴打 原因 利用者の状態把握不足 障害特性	利用者の心的状態を適切に把握
	わんすてっぷ	0件		
	ささゆり園	0件		
	地域生活総合支援センター	0件		
合計件数		1件		

器物損壊	あかつき園・ワークセンターささゆり	1件	内容 備品・設備の破損 原因 利用者の状態把握不足 障害特性	適切な情報提供 環境整備 利用者の心的状態を適切に把握
	わんすてっぷ	0件		
	ささゆり園	1件	内容 医療機器の破損 原因 職員の不注意	丁寧な取扱いの徹底
	地域生活総合支援センター	1件	内容 備品の破損 原因 利用者の状態把握不足 障害特性	利用者の心的状態を適切に把握
合計件数		3件		

内容	部署	件数	主な内容・原因	対応策
無断外出	あかつき園・ワークセンターささゆり	3件	内容 一時的な所在不明 原因 利用者の所在確認不足 通路扉の閉め忘れ	利用者の心的状態を適切に把握 安全配慮の徹底 環境整備
	わんすてっぷ	1件	内容 一時的な所在不明 原因 利用者の状態把握不足	利用者の心的状態を適切に把握 環境整備
	ささゆり園	0件		
	地域生活総合支援センター	4件	内容 一時的な所外・所内への無断外出 原因 利用者の状態把握不足	利用者の心的状態を適切に把握 環境整備
合計件数		8件		

車両事故	あかつき園・ワークセンターささゆり	4件	内容 対物接触 原因 確認不足	安全運転の徹底
	わんすてっぷ	0件		
	ささゆり園	2件	内容 対物接触、乗車中の利用者及び添乗員の打撲 原因 確認不足	安全運転の徹底
	地域生活総合支援センター	0件		
合計件数		6件		

その他	(あかつき園・ワークセンターささゆり) ・利用者の非常ベル誤操作等 ・誤送迎 (ささゆり園) ・人工呼吸器の誤操作 (地域生活総合支援センター) ・購入食材の腐敗	6件 1件 1件 1件
-----	---	----------------------

②苦情

部署	件数	内容	原因	解決状況
あかつき園・ワークセンターささゆり	3件	送迎時の運転に関するもの	丁寧さに欠ける運転	当該運転手への指導
地域生活総合支援センター	1件	利用受付に関するもの	受付担当者の処理誤り	状況の説明
合計件数	4件			

③ヒヤリハット

部署	件数	内容
あかつき園・ワークセンターささゆり	7件	<ul style="list-style-type: none"> * 無断外出・所在不明に至る恐れがあった事案 4件 * 他傷行為・器物破損等に至る恐れがあった事案 2件 * 怪我する恐れがあった事案 1件
わんすてっぷ	4件	<ul style="list-style-type: none"> * 怪我する恐れがあった事案 2件 * 器物破損等に至る恐れがあった事案 2件
ささゆり園	2件	<ul style="list-style-type: none"> * 誤薬に至る恐れがあった事案 1件 * 怪我する恐れがあった事案 1件
地域生活総合支援センター	4件	<ul style="list-style-type: none"> * 無断外出・所在不明に至る恐れがあった事案 2件 * 怪我する恐れがあった事案 1件 * 火災の恐れがあった事案 1件
合計件数	17件	

8. 地域参加・交流状況

(1) 納涼祭（主催：あかつき福祉会）

実施日： 8月18日（金）
実施場所： 瀬川地区敷地内
参加者数： 約350名
協力団体： 8団体
利用者参加者： 32名
職員従事者： 52名
内容： 盆踊り、ゲームコーナー、模擬店、抽選会など

(2) 西南ジャンボリー（主催：西南ジャンボリー実行委員会、西南小校区青少年を守る会）

実施日： 8月26日（土）
実施場所： 西南小学校グラウンド
体験者数： 186名
実行委員会： 3回実施
職員従事者： 6名
内容： 車いす体験コーナー

(3) いきいきふれあい広場（主催：西南小地区福祉会）

実施日： 11月18日（土）
実施場所： コミュニティーセンター西南小会館「かがり火の家」
職員従事者： 6名
内容： 野菜、さをり製品等の販売

(4) 社協バザー（主催：箕面市社会福祉協議会）

実施日： 12月10日（日）
実施場所： 西南小学校体育館
職員従事者： 4名
内容： 野菜、さをり製品等の販売

9. 職員研修実施状況

(1) 法人全体研修

実施日	研修内容	参加者数	講師
平成29年6月25日	コミュニケーション研修 ※正規職員対象	17名	けあ人財アカデミー合同会社 垣内 イスズ氏
平成30年1月26日	児童虐待の現状と課題	82名	(一財)児童虐待防止機構 オレンジCAPO 理事長 島田 妙子氏
平成30年2月25日	コミュニケーション研修 ※正規職員対象	15名	けあ人財アカデミー合同会社 垣内 イスズ氏
	合計	114名	

(2) 事業・施設別研修参加状況

	平成28年度	平成29年度
法人本部	4名 (4件)	3名 (3件)
あかつき園・ ワークセンター ささゆり	84名 (45件)	56名 (42件)
わんすてっぷ	2名 (2件)	12名 (9件)
ささゆり園	325名 (57件)	198名 (28件)
地域生活総合支援センター	67名 (13件)	97名 (23件)
合計	482名 (121件)	366名 (105件)

	研修内容
法人本部	障害福祉事業経営セミナー、社会福祉施設における労働災害防止対策研修会など
あかつき園・ ワークセンター ささゆり	サービスマナーセミナー(新採職員)、サービスマナーセミナー(中級リーダー)、スーパーバイザー養成基礎研修、リスクマネジメント研修、平成29年度大阪府障がい者虐待防止・権利擁護研修、てんかん基礎講座、新任職員研修、障がい児者施設課程(テーマ別)、集団指導者養成教室(組織が元気になる楽しい会議の進め方、コミュニケーショントラブル)研修、若者力活用セミナー、食中毒予防講習会、箕面市人権セミナーなど
わんすてっぷ	感染症予防研修、虐待防止研修、感染症予防対策講習会、新任職員研修、労務学習会、箕面市人権フォーラム全体会など
ささゆり園	喀痰吸引等研修、自然災害への備えに関する要配慮者利用施設の管理者向け説明会、感染症防止研修、中堅職員研修、虐待防止研修、おめめどう「時間軸・予算軸」セミナー、上級救命講習、誰もが暮らせる地域づくりフォーラム2017(伊丹)、労務学習会、地域看護師に捧げる研修会～感染・嚥下・スキンケアから認知症まで～、口腔ケア研修会、虐待防止・権利擁護研修、社会福祉士実習指導者講習会、おめめどうセミナーin京都(2018冬)、みんなで考える障害者福祉啓発講座「当たり前に暮らすために地域での『つながり』について考える」、移動式介護リフト研修、おむつフィッティング研修など
地域生活総合支援 センター	同行援護従事者養成研修、相談支援従事者専門コース(発達障害、高次脳機能障害、権利擁護・意思決定)、障害児者施設課程(初任者)、面接相談援助技術基礎講座、虐待防止研修、ヘルパー研修(感染症防止・虐待防止)、労務学習会、障害者グループホームセミナー、自信がもてるコミュニケーション講座、感染症防止研修、ショートステイ連絡協議会(ショートステイのこれから)、新任職員研修(対人援助の基本)、喀痰吸引等研修、マッセ・市民セミナー、福祉職員研修(施設長等運営管理職員)など

10. 実習生受入状況

(1) 進路支援に係る実習

受入施設	実習元	実人数	延べ人数	延べ日数	目的
あかつき園・ ワークセンター ささゆり	箕面支援学校	3名	6名	6日	支援学校卒業後の進路先を 検討するため
ささゆり園	箕面支援学校	2名	4名	4日	支援学校卒業後の進路先を 検討するため
	合 計	5名	10名	10日	

(2) その他

受入施設	実習元	実人数	延べ人数	延べ日数	目的
あかつき園・ ワークセンター ささゆり	箕面市	5名	11名	11日	福祉体験学習
	大阪福祉人材支 援センター	1名	4名	4日	介護等体験実習
	箕面自由学園中 学校	3名	3名	3日	職場体験学習
わんすてっぷ	箕面市	4名	10名	10日	福祉体験学習
	箕面学園福祉保 育専門学校	1名	1名	1日	介護等体験実習
ささゆり園	箕面市	6名	14名	14日	福祉体験学習
	箕面学園福祉保 育専門学校	1名	1名	1日	介護等体験実習
	箕面市立第五中 学校	1名	3名	3日	職場体験学習
	合 計	22名	47名	47日	

11. ボランティア受入状況

事業・施設名	参加内容	参加回数	延べ参加者
あかつき園・ ワークセンター ささゆり	日中活動	104回	254名
	所外活動・イベント	5回	30名
わんすてっぷ	日中活動	3回	3名
	所外活動・イベント	5回	26名
ささゆり園	イベント	11回	47名
	合 計	128回	360名

12. 視察・見学状況

(1) 受入状況

施設・事業	視察・見学元	人数	目的	
あかつき園・ ワークセンター ささゆり	社会福祉法人うめの木学園	2名	施設見学	
	箕面市立西南小学校	123名	施設見学	
	介護サービスすいっち	2名	施設見学	
	大阪人間科学大学	1名	施設見学	
	関西大学	1名	施設見学	
	箕面支援学校	19名	施設見学	
	イメージラボ	4名	施設見学	
	大学コンソーシアム	7名	インターンシップ	
	箕面自由学園中学校	10名	施設見学	
	あざみ合同会社電装ケアプランセンター	3名	施設見学	
	ささゆり園	寺島歯科医院	2名	施設見学
相談支援センター みーな		1名	施設見学	
ささゆり園実習予定者		1名	施設見学	
箕面支援学校		10名	実習先訪問	
箕面郵便局		2名	施設見学	
箕面保育園		26名	施設見学	
税理士法人村上事務所		2名	施設見学	
求職者		1名	施設見学	
支援職内定者		2名	施設見学	
箕面市立第五中学校		2名	施設見学	
ニーマンピック病C型患者家族の会		3名	施設見学	
箕面市民		13名	施設見学	
合 計		237名		

(2) 視察・見学実施状況

施設・事業	見学・視察先	人数	目的
ささゆり園	神戸ホテルフルーツ・フラワー	2名	旅行下見
	株式会社ヤクルト本社兵庫三木工場	2名	園外活動下見
地域生活総合支援 センター	グループホーム(積水ハウス)	3名	施設見学
	住まいの夢工場	2名	施設見学
合 計		9名	

13. 講師派遣状況

派遣先	件名	派遣講師
大阪府社会福祉協議会	相談支援従事者専門コース 別研修会	小林 竜也
箕面市肢体不自由児者父母の会	父母の会キャンプボランティア 講習会	濱野 和人
大阪府社会福祉協議会	平成29年度社会福祉施設職 員研修会 成人施設課程 応用コース「職員養成・職 場づくりにおけるリーダー の役割」	小山 健

14. 役員名簿

(1) 理事

平成30年3月31日現在

役職	氏名	団体・職業等	役職名等	区分
理事長	永田 吉治	箕面ライオンズクラブ	会員	社会福祉事業経営の識見を有する者
理事	石田 良美	社会福祉法人箕面市社会福祉協議会	会長	社会福祉事業経営の識見を有する者
理事	山内 照和	箕面市民生委員児童委員協議会	会長	事業区域の福祉に通じる者
理事	吉田 功	元 箕面市職員		事業区域の福祉に通じる者
理事	村田 尚記	箕面市健康福祉部	副部長	事業区域の福祉に通じる者
理事	亀谷 雅彦	社会福祉法人あかつき福祉会 箕面市立あかつき園・ワークセンターささゆり	管理者	施設管理者

(2) 監事

平成30年3月31日現在

役職	氏名	団体・職業等	役職名等	区分
監事	寺内 勇	社会福祉法人翠明社	監事	社会福祉事業の識見を有する者
監事	齋藤 堅造	箕面市会計室	会計管理者	財務管理の識見を有する者

(3) 評議員

平成30年3月31日現在

役職	氏名	団体・職業等	役職名等	区分
評議員	甲斐 節男	西南小地区福祉会	会長	地域の福祉関係者
評議員	下司 良一	一般財団法人箕面市障害者事業団	事務局次長	地域の福祉関係者
評議員	牧野 和彦	社会福祉法人大阪府障害者福祉事業団 明光ワークス	副所長	地域の福祉関係者
評議員	植田 恵美子	社会福祉法人息吹	理事長	社会福祉事業の経営者
評議員	木村 知也	箕面ロータリークラブ	親睦活動委員長	地域の福祉関係者
評議員	笥 加代	社会福祉法人あおば福祉会 瀬川保育園	園長	社会福祉事業の経営者
評議員	村西 啓二	大阪府立箕面支援学校	教諭	地域の福祉関係者
評議員	樫原 淳子	箕面市肢体不自由児者父母の会	書記	地域の福祉関係者

(4) 評議員選任・解任委員会委員

平成30年3月31日現在

役職	氏名	団体・職業等	役職名等	区分
評議員 選任・解任 委員会委員	寺内 勇	社会福祉法人翠明社	監事	監事
評議員 選任・解任 委員会委員	福田 寛久	社会福祉法人あかつき福祉会 法人本部(総務課)	課長	事務局員
評議員 選任・解任 委員会委員	多田 育雄	NPO法人箕面ラポール	監事	外部委員

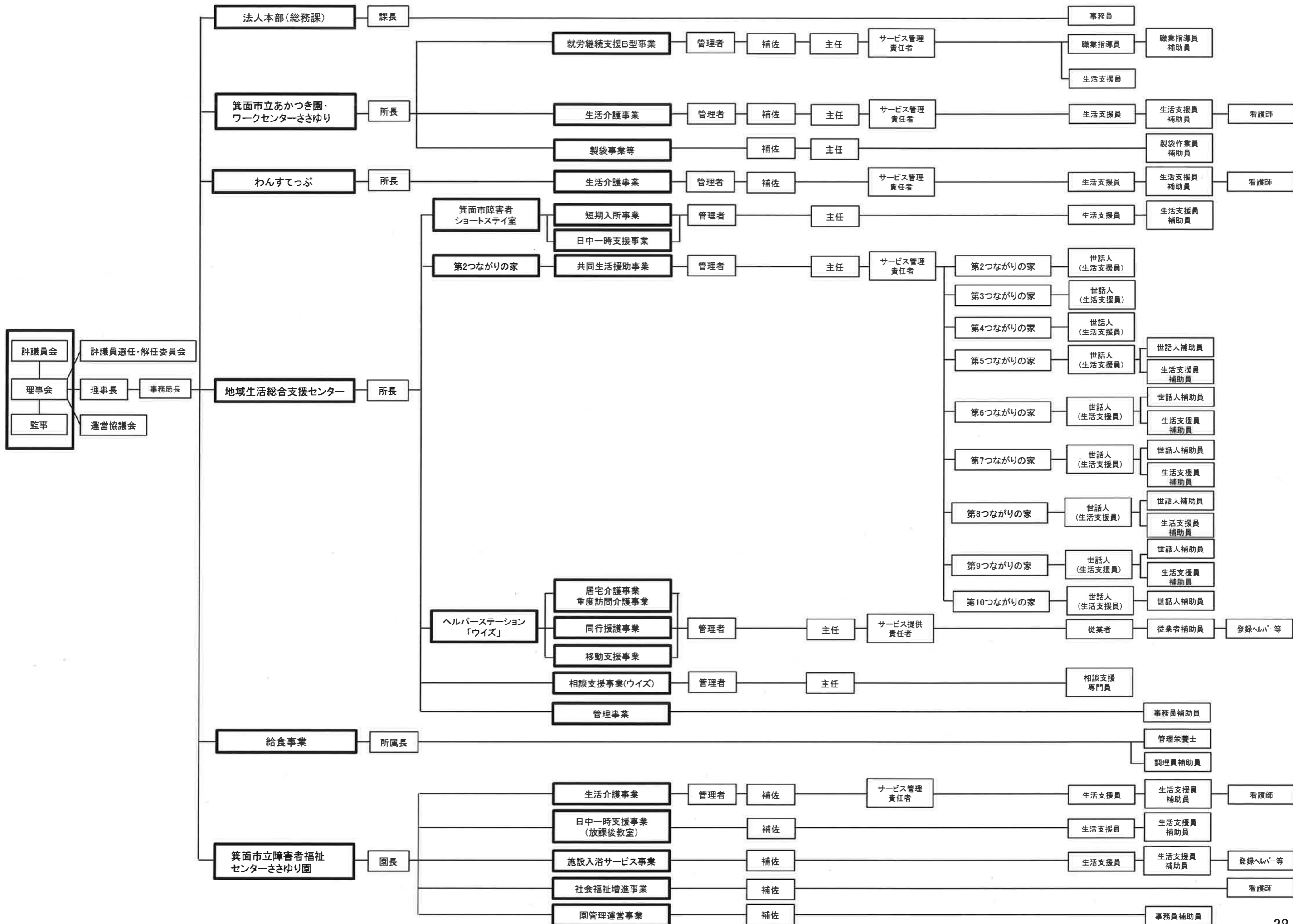
(5) 運営協議会委員

平成30年3月31日現在

役職	氏名	団体・職業等	役職名等	区分
運営協議 会委員	石黒 恵津子	箕面手をつなぐ親の会	幹事	理事長が適当と認める者
運営協議 会委員	羽藤 隆	箕面市身体障害者福祉会	副会長	理事長が適当と認める者
運営協議 会委員	日根 真理	箕面市西南小校区青少年を守る会	会長	地域の代表者

15. 平成29(2017)年度組織図

平成30年3月31日現在



16. 平成29(2017)年度職員内訳

平成30年3月31日現在

部局名	正規職員	支援職員	臨時職員	合計
法人本部	2名	4名	0名	6名
あかつき園・ワークセンターささゆり	9名	16名	36名	61名
わんすてっぷ	1名	2名	3名	6名
障害者福祉センターささゆり園	3名	5名	19名	27名
地域生活総合支援センター	5名	19名	17名	41名
厨房	0名	1名	4名	5名
合計	20名	47名	79名	146名

注1) 法人本部の支援職員には、障害者職員を含む

注2) あかつき園・ワークセンターささゆりには、製袋担当職員を含む

注3) 厨房の支援職員は、障害者職員を含む

注4) 臨時職員数には、バス添乗等の短時間勤務職員を含む

注5) その他、登録ヘルパー約20名(実質稼働者数)